

1. 調査業務の概要

1. 調査業務の概要

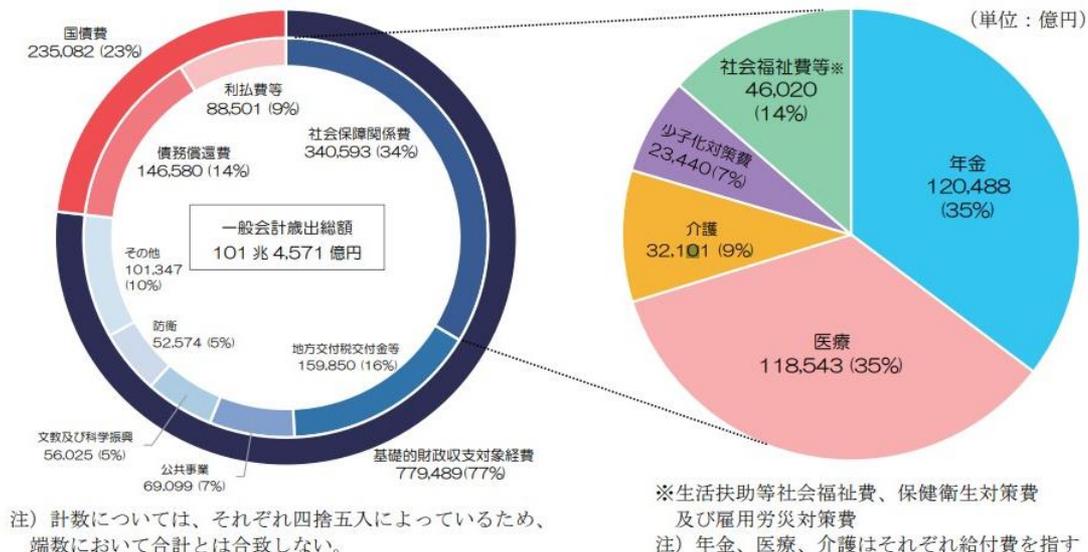
(1) 調査業務を実施するに当たっての課題と背景

SDGsが社会に広まる中、豊かさを追求しながら人間らしく生きる基盤としての「食」や「健康」への注目が高まっており、また、近年の科学技術の進歩により、「食」による健康維持・増進の効果に係る新たな知見が蓄積されつつある。

一方、我が国は世界一の長寿社会を迎えており、“人生100年時代”に向け、令和元年度一般会計予算101兆4,571億円のうち社会保障関係費は34兆593億円であり、一般会計予算の33.6%を占めている。前年度当初予算比でも1兆710億円（前年度比+3.2%）の増額となり、財政負担は今後も増加すると考えられ、財政の持続性を確保していくことが政府全体の課題となっている。

このような中、農林水産省として「食」を通じた「健康」な社会の実現に向け貢献していくため、新たな時代にふさわしい「食と健康」のあり方について検討を行い、新たな課題やニーズを把握するとともに、それを解決するための推進方策の検討を行うことが急務である。

平成31年度（令和元年度）社会保障関係予算の内訳



(出所) 財務省「平成31年度予算のポイント」及び「平成31年度社会保障関係予算のポイント」(2019年1月)

1. 調査業務の概要

(2) 本調査業務の概要

「食と健康」は、人類にとって身近なテーマであり、毎年実施されている「食の志向調査」（日本政策金融公庫）をみても、最近も継続して「健康志向」が第1位を占めており、健康に対する国民の関心の高さが伺える。

また、「食と健康」について、これまで数多くの研究や取組がされ、知見やデータが蓄積されてきている。

このような中本事業は、人生100年時代に向けた持続的社會構築に向け、科学技術の進歩や社会環境の変化を踏まえ、

【1】新たな時代にふさわしい「食と健康」のあり方とその実現に向けた方策を検討し、【2】広く国民に発信することを目的として、下記2点を実施した。

1. 最新の国内外の先進的な研究事例や取組事例について調査
2. 有識者を招いてのシンポジウム

「食と健康」を取り巻く状況

- 「食と健康」は身近なテーマ
- 様々な研究や取組が存在
- データの蓄積

調査の方針

1

国内外の先進的
事例調査

全体の見取り図を
作成。今後のあり
方・方向性を検討

2

シンポジウムの
実施

幅広く国民等に
情報発信